

はん 榛の木の花

春一番の花といえば福寿草^{ふくじゅそう}，それでは春一番の木といえは？斜里町ではそれは榛の木ということになります．といっても榛の木の花を愛でて春を満喫するというのは聞いたことがありません．枯枝か枯葉がしぼんでぶら下がっている，そんなふうにはしか見えないのが実は榛の木の花なのです．

はんの木のそれでも花のつもり哉（かな） 一茶

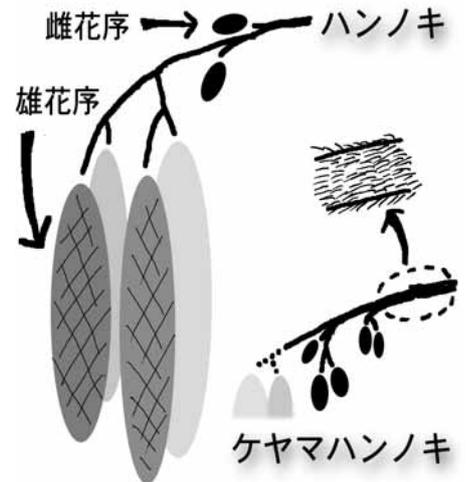
斜里町および知床半島で見られる榛の木は3種，ケヤマハンノキとハンノキ，そしてミヤマハンノキです．ミヤマハンノキは高山に行かないと見られませんが，ハンノキとケヤマハンノキは平地でも見られます．見つけやすいのは橋を渡るときで，川沿いがポイントです．注意してみると枝から「なにか茶色くて長いモノ」が枝先にぶら下がっている木があるはずで

ハンノキとケヤマハンノキの2種は花だけではなかなか見分けられません．ところが樹皮がこの2種では全く違うのです（夏なら葉の形でもっと簡単）．ハンノキはざらざらでうろこ状にひび割れた樹皮，ケヤマハンノキはなめらかで横に長い皮目が入っています．もし近くで見ることができれば，ケヤマハンノキはその名の通り枝に細かい毛がありますが，ハンノキでは毛がないのも良い識別点となります．

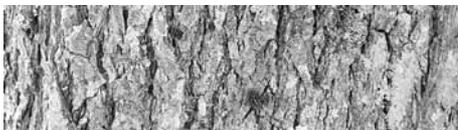
そうやって見ていくと，ハンノキはケヤマハンノキに比べると数が少ないことに気づくはずで．ハンノキの生える環境は春にミズバショウの咲くような湿原が中心です．夏には水草が茂りトンボが舞う，ちょうど今ならエゾアカガエルが大合唱をしている，そんな自然豊かな「いいところ」の、そして「いいところ」だったという目印に，私はいつもハンノキを探します．
（内田暁友）



左：ハンノキの花
上：ケヤマハンノキの花



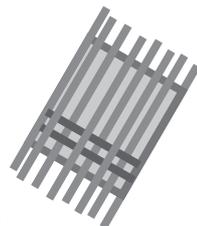
左：ケヤマハンノキの樹皮
右：ハンノキの樹皮



メンバー募集中！

郷土史研究会 天文同好会
野鳥の会 はた織り会

詳しくは博物館へお問い合わせください



今年の博物館「みどりの日」は
5月26日（日）です

詳しくは次号タンネウシで

暖かい日が続いて春が来たなと実感します。
ところどころでふきのとうがみられ、植物たちも
すくすく成長して、私たちの目を楽しませてくれ
ますね。（秋山）

発行 知床博物館協力会 2002.4.15改

099-4113

北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内

TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257

<http://www5.ocn.ne.jp/~museumsp/>